

cellnest ヒト I 型コラーゲン様リコンビナントペプチド <使用例>

<スポンジ作成例>



1. cellnest 水溶液の濃度・凍結条件、型によりスポンジの内部構造や形状を制御できます。
2. 生体での分解性は架橋温度・時間により制御できます。

【準備するもの】

<材料>

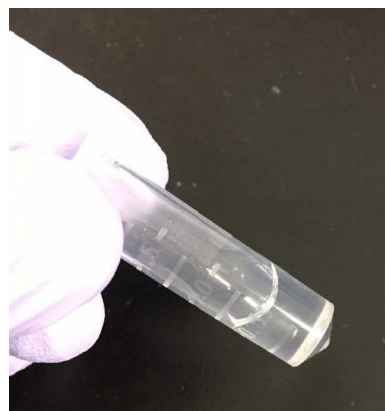
- ・ cellnest ヒト I 型コラーゲン様リコンビナントペプチド 凍結乾燥体 100mg
- ・ 注射用水 2.4mL

<必要な器具>

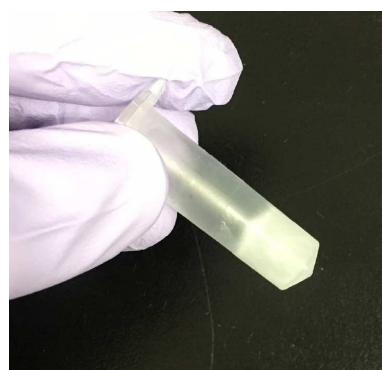
- ・ マクロチューブ（2mL）4 本
- ・ 冷凍庫（-20℃）
- ・ 凍結乾燥機
- ・ 真空オープン

【プロトコル】

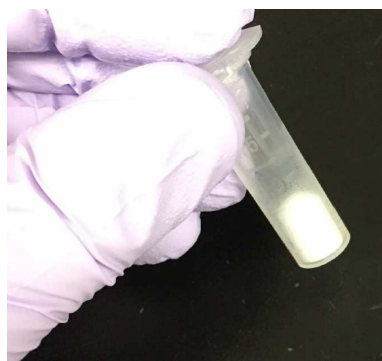
- ① cellnest 凍結乾燥体 100 mg の容器に注射用水 2.4 mL を添加します。
- ② 上記容器を 37℃インキュベーター内に1 時間静置し、cellnest を溶解させます。
- ③ ②で調製した cellnest 水溶液（0.6 mL）をマイクロチューブ（2 mL）に分注し、遠心分離により脱泡します。



- ④ 上記マイクロチューブを冷凍庫（-20℃）で
終夜静置し、溶液を凍結させます。



- ⑤ 予冷した凍結乾燥機にて凍結乾燥し、
cellnest スポンジが出来ます。



- ⑥ マイクロチューブより凍結乾燥体を取り出し、
真空オーブン（160℃）で 10 時間設置し、
cellnest を架橋します。